

**着眼点**

- (1), (2)  $x, y$  にいろいろな値を代入する。ただし,  $f(0)$  とならないように気をつける。
- (3)  $y = -2x$  を代入すると,  $f(-x)$  の形がでてくる。
- (4)  $f\left(\frac{1}{x}\right)$  の形をつくるためには,  $x=1, y=x$  を代入すればよい。計算するとき,  $f(x) \neq 0$  であることに注意する。
- (5)  $x, y$  にそれぞれ  $\frac{b}{a}, \frac{a}{b}$  を代入し, (4)で証明した関係式を利用する。この設問の不等式の証明は, 相加平均と相乗平均の関係を用いてもよい。
- 参考までに, この問題は関数  $f(x) = \frac{1}{x}$  がもつ性質をもとに作問した。

**解答例**

$$f(x+y)\left\{1+f\left(\frac{x}{y}\right)\right\}=f(x) \quad \dots\dots\textcircled{1} \quad \text{とする}$$

(1) ①に  $x=1, y=1$  を代入すると  $f(2)\{1+f(1)\}=f(1)$   
 条件 I より  $f(1)=1$  であるから  $2f(2)=1$   
 よって,  $f(2)=\frac{1}{2}$

①に  $x=\frac{1}{2}, y=\frac{1}{2}$  を代入すると  $f(1)\{1+f(1)\}=f\left(\frac{1}{2}\right)$   
 条件 I より  $f(1)=1$  であるから  $1 \cdot 2 = f\left(\frac{1}{2}\right)$  よって,  $f\left(\frac{1}{2}\right)=2$

(2) ①に  $x=2, y=-1$  を代入すると  $f(1)\{1+f(-2)\}=f(2)$   
 条件 I と(1)より  $f(1)=1, f(2)=\frac{1}{2}$  であるから

$$1 \cdot \{1+f(-2)\} = \frac{1}{2} \quad \text{よって, } f(-2) = -\frac{1}{2}$$

①に  $x=-2, y=1$  を代入すると  $f(-1)\{1+f(-2)\}=f(-2)$   
 $f(-2) = -\frac{1}{2}$  であるから  $f(-1)\left(1-\frac{1}{2}\right) = -\frac{1}{2}$   
 よって  $f(-1) = -1$

①に  $x=-\frac{1}{2}, y=-\frac{1}{2}$  を代入すると  $f(-1)\{1+f(1)\}=f\left(-\frac{1}{2}\right)$   
 $f(-1) = -1, f(1) = 1$  であるから  $(-1) \cdot (1+1) = f\left(-\frac{1}{2}\right)$  よって,  $f\left(-\frac{1}{2}\right) = -2$

(3) ①に  $y = -2x$  を代入すると  $f(-x)\left\{1+f\left(-\frac{1}{2}\right)\right\}=f(x)$   
 $f\left(-\frac{1}{2}\right) = -2$  であるから  $-f(-x) = f(x)$   
 ゆえに  $f(-x) = -f(x)$

(4) 条件 II と(3)より,  $x < 0$  のとき,  $f(x) < 0$  である  
 すなわち,  $0$  以外のすべての実数  $x$  に対して,  $f(x) \neq 0$  である  
 ここで, ①に  $y=1$  を代入すると  $f(x+1)\{1+f(x)\}=f(x) \quad \dots\dots\textcircled{2}$

次に、①に  $x=1$ ,  $y=x$  を代入すると  $f(1+x)\left\{1+f\left(\frac{1}{x}\right)\right\}=f(1)$

$$f(1+x)\left\{1+f\left(\frac{1}{x}\right)\right\}=1 \quad \dots\dots③$$

③の両辺に  $f(x)$  をかけると

$$f(x)f(1+x)\left\{1+f\left(\frac{1}{x}\right)\right\}=f(x) \quad \dots\dots④$$

②と④より

$$f(1+x)\{1+f(x)\}=f(x)f(1+x)\left\{1+f\left(\frac{1}{x}\right)\right\}$$

$f(1+x) \neq 0$ なので

$$1+f(x)=f(x)\left\{1+f\left(\frac{1}{x}\right)\right\}$$

$$1+f(x)=f(x)+f(x)f\left(\frac{1}{x}\right)$$

よって

$$f\left(\frac{1}{x}\right)=\frac{1}{f(x)} \quad \text{が成り立つ}$$

(5) ①に  $x=a$ ,  $y=b$  を代入すると

$$f(a+b)\left\{1+f\left(\frac{a}{b}\right)\right\}=f(a) \quad \dots\dots⑤$$

①に  $x=b$ ,  $y=a$  を代入すると

$$f(b+a)\left\{1+f\left(\frac{b}{a}\right)\right\}=f(b) \quad \dots\dots⑥$$

⑤+⑥から

$$f(a+b)\left\{2+f\left(\frac{a}{b}\right)+f\left(\frac{b}{a}\right)\right\}=f(a)+f(b)$$

したがって、 $f\left(\frac{a}{b}\right)+f\left(\frac{b}{a}\right)\geq 2$  を証明すればよい

ここで、(4)で証明した  $f\left(\frac{1}{x}\right)=\frac{1}{f(x)}$  より  $f\left(\frac{b}{a}\right)=\frac{1}{f\left(\frac{a}{b}\right)}$

また、条件IIより、 $\frac{a}{b}>0$  なので、 $f\left(\frac{a}{b}\right)>0$ である

$$f\left(\frac{a}{b}\right)=t \text{ とおくととき} \quad f\left(\frac{b}{a}\right)+f\left(\frac{a}{b}\right)-2=t+\frac{1}{t}-2=\frac{(t-1)^2}{t}\geq 0$$

ゆえに

$$f\left(\frac{b}{a}\right)+f\left(\frac{a}{b}\right)\geq 2$$

$$\text{よって} \quad f(a)+f(b)=\left\{2+f\left(\frac{b}{a}\right)+f\left(\frac{a}{b}\right)\right\}f(a+b)\geq(2+2)f(a+b)=4f(a+b)$$

したがって  $f(a)+f(b)\geq 4f(a+b)$  が成り立つ